

令和 6年度予算見積調書

課室名: 建築安全課

担当名: 企画担当

内線: 5514

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業			
P23	空き家コーディネーター活用事業費		一般会計	土木費	土木管理費	建築指導費	空き家等対策促進費			
事業期間	令和 4年度～	根拠法令	空家等対策の推進に関する特別措置法			針路	09	未来を見据えた社会基盤の創造	SDGsゴール	11
					分野施策	0901	住み続けられるまちづくり	SDGsターゲット	11-1, 11-3	
1 事業概要			5 事業説明							
<p>空き家の所有者や活用希望者等からの相談に対応するため、専門的な知識や経験を持つ「空き家コーディネーター」による空き家相談の総合窓口を設置し、相談内容に応じて、解決に向けた具体的な手法の提案や各種専門家の紹介、必要な費用の試算、所有者と活用希望者とのマッチング、個別相談会などを行う。</p> <p>また、空家等対策の推進に関する特別措置法の改正を受け、空き家対策のための各種マニュアルの改定及び新規作成を図る。</p> <p>これらにより、県全体で効果的な空き家対策(発生抑制、流通・活用、除却等)を促進する。</p> <p>ア 空き家コーディネーター業務委託 7,000千円 イ 空き家対策マニュアル整備業務委託 6,000千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 空き家コーディネーター業務委託 7,000千円 イ 空き家対策マニュアル整備業務委託 6,000千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 空き家の所有者や活用希望者等からの相談対応(空き家相談の総合窓口)や、発生抑制に向けた取組などを行う事業者を選定し、業務を委託する。 イ 空家等対策の推進に関する特別措置法の改正を受け、空き家対策のための既存マニュアルの改定及び新規マニュアルの作成業務を委託する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度相談件数 317件 空き家の所有者や活用希望者等からの相談に対し、解決に向けた具体的な手法の提案や各種専門家の紹介、必要な費用の試算、所有者と活用希望者とのマッチングなどを行うことで、空き家の発生抑制、流通・活用、除却等の促進が図られる。 法改正を反映した空き家対策のための実務的な各種マニュアルを整備することで、市町村に対する支援につながる。 <p>【活動指標(アウトプット)】 相談件数、専門家派遣件数 【成果指標(アウトカム)】 空き家の発生抑制、管理不全空家化の未然防止等による良好な居住環境の維持・向上</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 埼玉県空き家対策連絡会議を通じた市町村及び関係団体との連携 							
2 事業主体及び負担区分										
ア (県10/10)										
イ (県10/10)										
3 地方財政措置の状況			なし							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員			9,500千円×1.0人=9,500千円							
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比	
決定額	13,000						13,000	3,000		
前年額	10,000						10,000			

事業内訳書

事業名	空き家コーディネーター活用事業費		
単位事業名	空き家コーディネーター活用事業費	予算額	13,000千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	13,000	3,000	
合計	13,000	3,000	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	13,000	3,000	空き家コーディネーター業務委託 空き家対策マニュアル整備業務委託
合計	13,000	3,000	